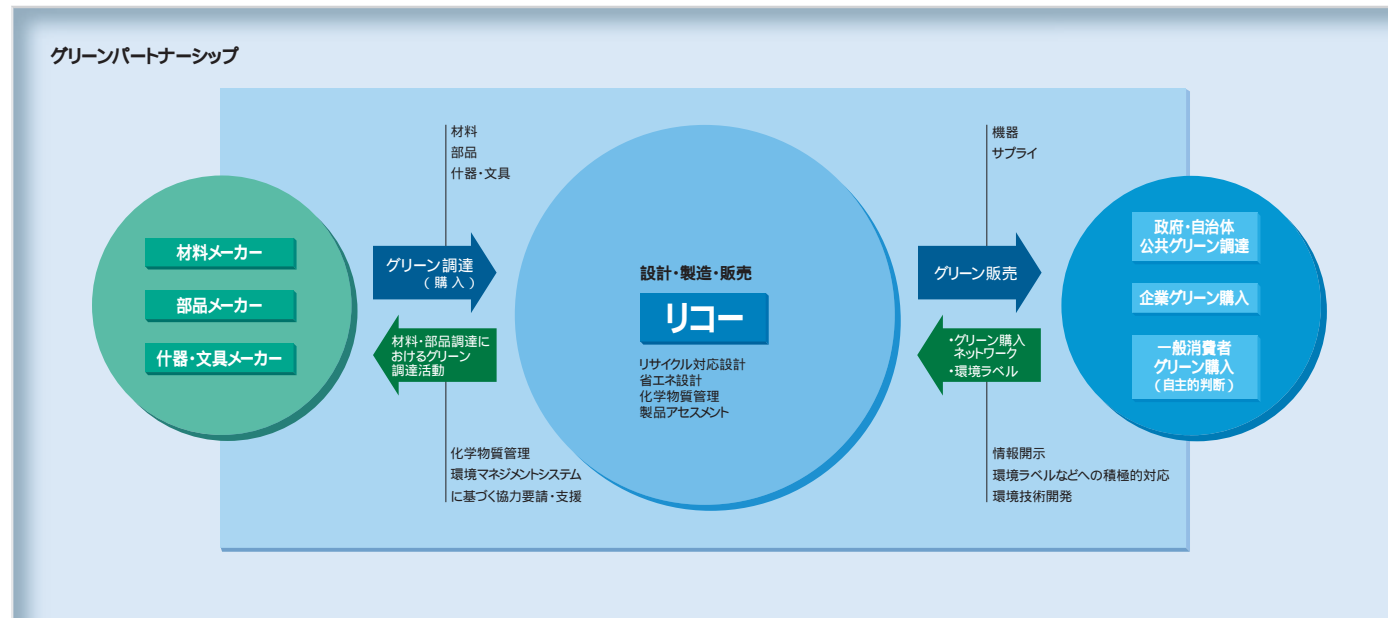




グリーンパートナーシップ



グリーンパートナーシップの考え方

企業活動全体の環境負荷を低減するには、環境負荷の少ない資材などを購入し、環境負荷が少ないように製造し、環境負荷の少ない製品を販売することが重要です。リコーグループは、コメントサークルに基づき、資材購入先、リコー製品をご使用いただくお客様、提携リサイクル事業者すべてをグリーンパートナーと考え、パートナーが発生させる環境負荷をより少なくするために、購入資材の選択や、製品自体の環境負荷低減を徹底して行っています。また、より効率的なリサイクルが行えるよう、リサイクル対応設計のレベルも向上させています。

資材のグリーン調達

より環境負荷の少ない資材を調達するために、リコーグループは「グリーン調達ガイドライン」を発行し、多くの資材購入先に対して協力を仰いでいます。リコーは、資材購入先の協力により、部品材料などに含まれる

化学物質の含有量の明確化に着手し、現在、その改善を進めています。またISO14001取得のための支援をはじめ、環境情報の提供、製品や部品の個別対応など、パートナーである資材購入先と課題を共有し、改善に取り組んでいます。今後は、関連会社、海外拠点でも展開していく予定です。

一般購入品のグリーン調達

リコーは社内で使用するOA機器、備品、文具、販促品、贈答品などにも環境負荷が少ないものを選択していきます。グリーン購入推進会議のもと、エコ商品リストの作成およびエコ商品自動発注システムの構築を進めています。今後は、関連会社、海外拠点でも展開していく予定です。

化学物質の管理

リコーは、1996年に化学物質管理システム「RECSIS」を構築し、リコーグループ全体に対する化学物質の入口管理、出口管理のために活用しています。設計部門では環境有害性や法規制を考慮した材料選定が容易に行えるようになり、製造拠点

では化学物質の種類・購入量・使用量・在庫量をリアルタイムで把握できるため、必要に応じて適切な処置を行えるようになりました。また販売部門に対しても、化学物質に関する各国の法規制の制定・改定情報をアナウンスできるため、国際的な対応がスムーズに行えます。

*RECSIS: Ricoh Environmental and Chemical Safety Information System

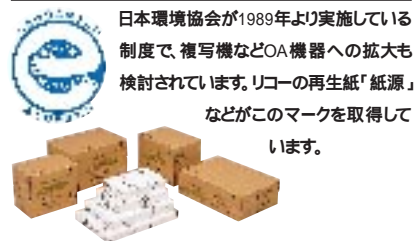
グリーン販売

お客様のところで発生する環境負荷を低減するために、リコーグループは、ブルーエンジェルマーク、ルディックスワンマーク、国際エネルギースターマークなどの環境ラベルに対応した製品を積極的に開発。省エネルギー製品、リサイクルしやすい製品、リサイクル部品や材料を使った製品を販売しています。

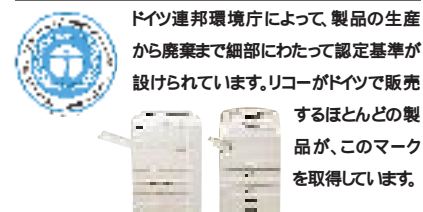
製品の環境負荷情報の開示

リコーグループは、政府の物品調達リスト、グリーン購入ネットワークなどに製品情報を開示しているだけでなく、それぞれに高いレベルで対応しています。

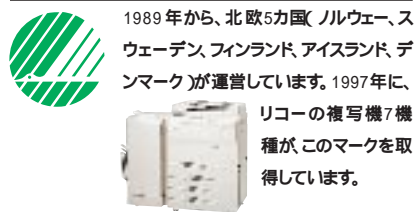
世界の環境ラベルとリコーグループの対応状況 エコマーク/日本



ブルーエンジェルマーク BAM/ドイツ



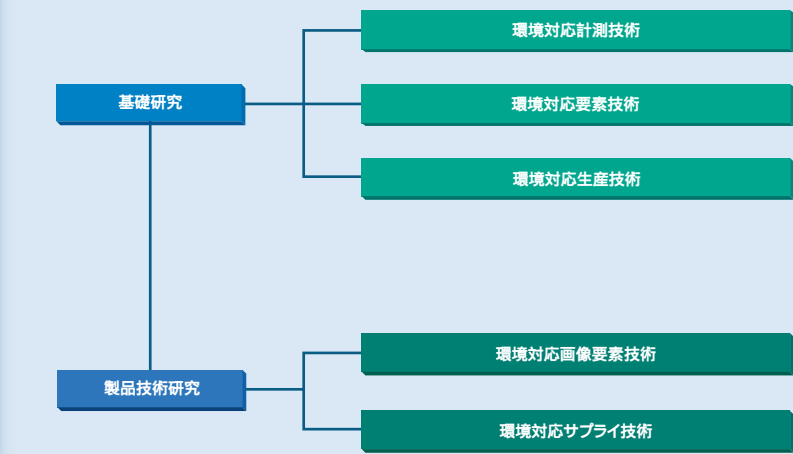
ルディックスワンマーク/北欧



環境技術開発

リコーは、待機時の消費電力を従来の1/20に抑えたファクシミリ複合機BL110や、複写機本体のプラスチックと一緒にリサイクルできるラベル「相溶性シート」など、さまざまな環境技術の開発に成功してきました。環境技術における先進性は、ビジネスにも大きな意味を持ちます。通産省ではCO₂排出量削減のために省エネルギー法を強化し、OA機器を含む電気製品の分野に「トップランナー方式」を導入しました。これによって、No.1の省エネルギー性能と同等もしくはそれ以上の性能を、一定期間内に実現しなくてはなりません。つまり優れた環境技術は、多くの企業に使用され、デファクトスタンダード事実上の標準としての地位を築くことになるのです。リコーグループは、独自の研究所群構想に基づき、環境技術に関する基礎研究・製品技術研究に取り組んでいます。

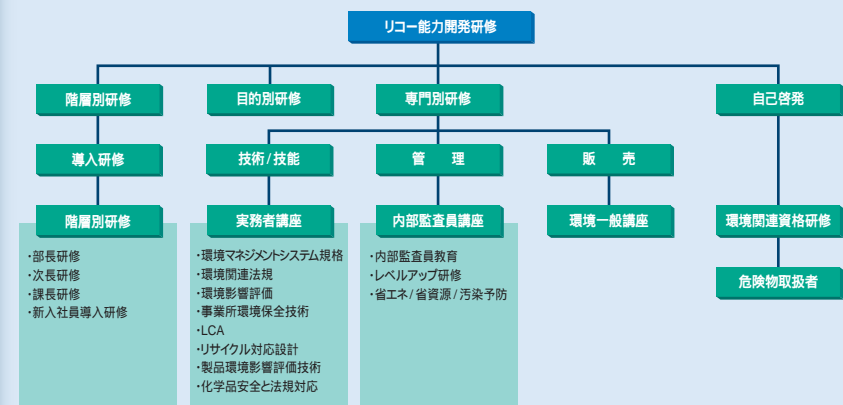
環境技術開発



環境教育・啓発

環境保全活動は、従業員ひとりひとりの意識や行動が変わっていかなくては推進できません。リコーグループでは、環境保全への理解を深め、環境保全のプロフェッショナルを育成するための教育体系を設け、新入社員研修、設計技術者教育、環境マネジメントシステムの内部監査員講座など、さまざまな教育研修を実施しています。また、公害防止管理者や作業環境測定士などの資格取得の支援や、環境保全に功績のあった従業員に対する社内表彰制度も設けています。全社的な環境大会の開催をはじめ、環境保全に関する情報誌やポケットブックの発行、社員の環境意識調査のためのアンケート、ホームページでの情報発信など、グループ内外に対する啓発活動も積極的に行っています。

環境教育体系



RESYマーク/ドイツ



DSD(グリーンポイント)マーク/ドイツ

